

<メディアウオッチ> 麻生氏の「ナチス」発言に無批判ぶり際立つ NHK

上出 義樹

麻生太郎副総理・財務相が憲法改定に絡んだ講演で、ナチスの「手口に学んだらどうか」と発言して国内外から厳しい批判を受けるなか、NHKはこの問題をごく表面的にしか報じていない。総じて安倍政権に腰が引けたマスメディアの中でも NHK の無批判ぶりは際立つ。

歴史への無知を露呈した副総理の講演内容

麻生氏は7月29日、改憲を推進するジャーナリスト、桜井よしこ氏が代表を務める国際基本問題研究所が都内で開いた研究会で講演した際、「ドイツのワイマール憲法もいつの間にかナチス憲法に変わっていたが、だれも気が付かなかった。あの手口に学んだらどうかね」との趣旨の発言をした。

麻生氏は「ナチス憲法」「だれも気が付かない」という言葉を使っているが、これはいつもながらの同氏の勉強不足。実際には「ナチス憲法」は存在せず、ヒトラー率いるナチス党がさまざまな策略と反対勢力への弾圧のもとで悪名高い「全権委任法」を制定し、民主的なワイマール憲法を事実上機能停止にしたのが歴史的な事実である。

米国のユダヤ人権団体などから厳しい抗議声明

それは置くとしても、「ナチス」の事例を肯定的に引用した麻生発言に対しては韓国の新聞や米国のユダヤ人権団体などが社説や声明で「日本の閣僚がナチス式の憲法改正に言及」「民主主義をひそかに機能不全にしようと言うのか」などと批判や抗議をしている。

内外からの批判もまともに報じない NHK

こうした麻生氏の「ナチス」発言を全国紙や通信社などが第一報として伝えた7月30日から8月1日までの間、NHKは1日正午のニュースで初めて報じたが、同日の「ニュース7」、「ニュースウオッチ9」では全く取り上げなかった。正午のニュースも主に麻生氏の発言「撤回」や釈明を伝えるだけ。2日正午のニュースや4日の「ニュース7」でもこの問題を扱ったが、それぞれ麻生氏を擁護する菅義偉官房長官や安倍晋三首相の発言などを一方的に報じたもので、ユダヤ人権団体などによる麻生発言批判の内容も紹介していない。

安倍政権を礼賛する大手メディアの中でも目に余る蜜月ぶり

日ごろ安倍政権を後押しする読売新聞でさえ3日付社説で「ナチスにどう改憲を学ぶのか」との見出しを付け、麻生発言の問題点を指摘する。同じアベノミクス礼賛組のメディアに比べても、今回の麻生発言に対するNHKの及び腰と安倍政権への蜜月ぶりは目に余る。

(かみで・よしき) 北海道新聞で東京支社政治経済部、シンガポール特派員、編集委員などを担当。現在フリーランス記者。上智大大学院博士後期課程(新聞学専攻)在学中。